6月は「環境月間」　6月5日は「環境の日」です

地球とはもっとなかよくなれるはず

地球温暖化、酸性雨、オゾンホール、生物種の減少など、地球規模の様々な問題が人類生存の脅威となっています。人類の生存基盤である地球環境に、深刻な影響を与えているのです。これらの問題が、明日や明後日にただちに人類の滅亡をもたらすわけではありませんが、だからといって私たちが何もしなくてよいというものでもありません。大きな被害が生じてからではもう遅いのです。

6月は『環境月間』、6月5日は『環境の日』です。期間中、「地球とはもっとなかよくなれるはず」を全国統一テーマとして、各地でいろいろなPRキャンペーン行事などが行われます。

この機会に、皆さんも環境問題の重要性を再認識し、人類が存続するための基盤である地球環境を子孫に残すためにはどうしたらよいかを、今一度考えてみませんか。

◆限りある資源

――将来の世代の生活も考えての利用を――

私たちの生活は、エネルギー資源のほか、金属資源や木材、農作物、繊維原料など各種の資源の利用によって成り立っています。その資源の形成に必要な年数が短かければ、消費とのバランスがとれて永続的な利用も可能となります。

しかし、私たちが利用している多くの資源は、石油では億年単位、木材でも数十年単位というように、過去の蓄積を食いつぶしながら生きているといえるのです。

現在の日本は物質的に豊かな生活を送っています。しかし、この生活も地球や世界の人々によって支えられてのものです。何気なく食べ残して捨てていることやゴミを作りだすことが、地球の病を重くしているのです。

最近、「もったいない」という意識を復活させ、暮らし方を考えてみようという人が増えているといわれています。阪神・淡路大震災で、ものの持つ価値のはかなさを覚え、これからはなるべく物を買わない生活に切り替えたという話も聞きます。ものを廃棄物として処分することから、ものの命を大切にし、さらに不用になった時点でリサイクルにより生き返らせる「循環型社会経済」への転換が、きわめて重要な課題になっています。

▲昨年の“ふれあいクリーン作戦„から

海洋環境保全推進週間　6月5～11日
海上環境事犯一斉取締り　6月12～21日

未来に残そう青い海

◆ゴミ・ダイエット

――家庭でできる“ゴミ減量大作戦”――

廃棄物を少なくする秘訣は、第一に廃棄物になるものをなるべく家庭に持ち込まないこと、第二にものの寿命を最大限に生かした使い方をすること、第三に不用になった場合はリサイクルのルートに乗せるための努力をすることです。

次に取り上げるのはその一例ですので、参考にしてください。

①家庭にゴミを持ち込まない

・食料品は、無駄にならないよう必要なだけ買う。
・無包装、再使用される容器包装、簡易包装、詰め替用など、廃棄する割合の少ない製品を買う。
・買い物の際は、買い物袋を持参する。
・海外旅行かばんなど、リースできるものは、積極的にリースを活用する。

②家庭でゴミがでないようにする

・大根の葉など、食料品はできるだけ調理を工夫して食べる。
・衣料品は、ほころびをつくろったり、子供服にリフォームするなどして長く使う。

③ゴミとして出さず、資源回収に出す

・古紙、古布は、資源回収に出す。
・牛乳パックなどの容器は、販売店等の回収に出す。
・生ゴミは、コンポストなどを活用して堆肥として利用する。

◆エコマーク

――“地球にやさしい”製品の使用を――

一九八〇年代に入り、日本でも地球環境問題が顕在化してくる中、環境への負担が少ない製品の推奨方法が模索され、当時の西ドイツの環境保護ラベルを参考にして、一九八九年、『エコマーク事業』が開始されました。「特定フロンを使用しないスプレー」など七種類の品目を対象としてスタートし、一九九五年七月時点で六十六品目、二千百九十四ブランドの商品がエコマークの認定を受けています。

ただし、エコマーク商品だからといって環境に全く影響がないわけではありません。製造、使用、廃棄などの段階で、多少なりとも影響を与えています。むやみにたくさん使っては地球にやさしいことにはなりません。やはり大量消費型のライフスタイルを見直すことが大切です。

エコマーク以外にも、古紙を再生利用した紙製品についているグリーンマークがあります。このマークを学校や町内会で集めると、苗木や球根が贈られます。

再生紙製品の利用拡大と緑化を通じた自然環境保護に、皆さんも協力してみませんか。

■エコマークの基本デザイン

“コンポスト”

生ゴミ減量のため

生ゴミを処理するには大きな経費が必要なのです。ゴミ問題に取り組んでいる宮室村公衆衛生推進委員会では、生ゴミの減量化を図るとともに、その生ゴミを堆肥にする“コンポスト”の設置を進めています。

平成八年度より、コンポストを設置する家庭には購入費の半額を助成することになりました。消費税は個人負担。皆さんもコンポストを活用し、生ゴミの減量にご協力ください。

■斡旋価格（消費税込み）
小…二三〇〇円～二五〇〇円
大…二〇〇〇円～二二〇〇円

＊申込みは、6月20日までに役場保健衛生課（☎82-4111内線121～122）までどうぞ。
ムダ！所成個数に限り（30個）かありますので、お申込みはお早めに。

▲コンポスト